

母校サッカー部全国大会出場



後方は対米子工戦での満員の駒場高校応援席

母校サッカー部は第76回全国高校サッカー選手権に東京Bブロック代表として、始めて出場という快挙をなしました。

昨年の大晦日午後2時10分キックオフで、東京オリンピック会場の駒沢競技場での米子工との第一試合に臨みました。試合は2-2の同点となり、PK戦5-4で、惜しくも初戦勝利を飾ることは出来ませんでした。

OB、OG始め、関係者で応援席は埋まりました。応援席で

は同期生が互いに名前を呼び、盛大な同窓会会場風景となりました。

東京都予選の決勝戦は昨年11月15日東京・北区の国立西ヶ丘競技場で私学の強豪東海大菅生を2-1で下し、全国大会出場の初切符を手に入れました。都立高校では92年の都立久留米高以来、5年ぶりです。

東京都予選では、対京華5-0、対暁星3-0、準決勝では強豪堀越を1-0で下しての優勝でした。

駒場松桜会会報

第62号

1998年3月1日発行
財団法人駒場松桜会
〒153-8641 東京都目黒区
大橋2-18-1
都立駒場高校仰光寮
電話03-3466-7579
振替番号
00190-8-28486

98年度 総会・講演会のお知らせ

日時及び会場

5月16日(土) 都立駒場高校第一会議室

総会 (13時~)

講演会 (13時30分~)

講師 直木賞作家皆川博子氏(44歳)

——小説の舞台裏——

○時代小説・芝居・浮世絵に限定せず、これまでに書きなりましたものについて、お話いただきます。

○同窓会以外の方も、お誘い合せの上お気軽にご参加ください。

○準備の都合上、同封の葉書にてご出席の方のみ、4月末日までにお知らせ下さい。

〈講師紹介〉

1930年1月2日生。47年第三高女卒。東京女子大中途退学。73年「アルカディアの夏」で第20回小説現代新人賞、85年「壁」旅芝居殺人事件」(白水社)で日本推理作家協会賞、86年「恋紅」(新潮社)で直木賞、90年「薔薇忌」(集英社)で柴田錬三郎賞を受賞。

ミステリーから幻想小説そして時代小説まで幅広い分野で活躍。流麗な筆致と綿密な構想力で力作を次々と発表。

上記以外の主要作品は次の通りです。

妖かし蔵殺人事件(中央公論社)、二人阿国(新潮社)、乱世玉響——連如と女たち——(読売新聞社)、鶴屋南北冥府巡(新潮社)、朱鱗の家——絵双紙妖綺譚——(角川書店)、妖校記(文芸春秋)、骨笛(集英社)、あの紫は——わらべ囀幻想——(実業之日本社)、華櫻(毎日新聞社)、毎日新聞連載「妖恋——男と女の不思議な七章——」(P.P.研究所)、雪女郎(読売新聞社)、死の泉(早川書房)

住所不明会員照会

駒5(昭和28年3月卒)～駒10までの住所不明会員のリストです。消息をご存知の方は、松桜会までお知らせ下さい。

駒5-1
鈴木 武三
中岡 美三郎
中村 照作
石川(興田) 千代子
佐藤 道子

駒5-2
上田 和子
岡村 道子
笠原 津鶴子
島崎 道子
南渡 孝子
野口(森田) 純江

駒5-3
菊池 宝一
千葉 貴夫
中島 弘司
加藤(折原) 佐智子
金田 陽子
吉浜(高橋) 三子代
田中 貞子

駒5-4
片岡 博
岡崎 啓治
角谷 裕
岡 実
原 幹雄
渡辺 康雄

駒5-5
笠原 太郎
木村 利雄
倉石 照久
小泉 功介
山崎 莊介
近藤(木村) 多美子
橋本 祐子
桑原(藤本) 道子
丸島 登

駒5-6
青山 光子
伊藤 明子
大山 圭子
上本 和子
石井(高島) 千恵子
原(中沢) 治子
平本(安田) 和可

駒5-7
石川 良一
龍 健一
吉武(天野) 久子
鈴木 幸子
山口 元子
山口 祐子
野原(山本) 和子
渡部 洋子

駒5-8
宮尾(石川) 静子
高橋(河野) 道子
山田(津田) 美恵子
高取(久保) 純子
若木(末田) 直

駒6-1
高橋 宜子
松永 多加子
水田 明子
福田 和子
石川(布庭) とみ
吉原(本多) 信子
松原 秀子
宮田 澄子
山本 美智子
横田 美子

駒6-2
一帯 小丸 徹
酒田 健一
四田 泰三
山田 信
若槻(平島) 順子
山下(加藤) 真理子
松本(紀) 紀子

駒6-3
井口 孝男
大谷 淑洋
大谷 康夫
馬場 幸治
牧 景一
山田 正愛
秋葉 恭子
大谷 智加子

駒6-4
越井(内田) 紅
武田(飯坂) 満子

駒6-5
大塚 寛
大塚 昭信
菅 一造
桑原 雄治
松田 俊介
渋谷 信男
関根 淳伸
田屋 紀一
塚本 正己
仲田 達雄
中木 裕雄
二宮 晋一
南 勝己
三好 国彦
荒木 弘子
井岡 佐智子
小沢 泰子
小林 裕子
神保 米子
堀井 和子
北島(吉田) みすず

駒6-6
池田 健一郎
加藤(大沢) ミチ
吉田 房子

駒6-7
川崎(飯塚) 美和子
岩田 和夫
大田原 邦博
尾崎 正一
高橋 とき子
森 茂子
田中 恵子

駒6-8
青柳 英子
土屋 和子
鈴木 和彦
鈴木 春香

駒6-9
青木(岩間) 秀子
加藤 公子
阿部(長谷川) 祐子
上林(斎崎) 愛子
川島(村松) 二三子
清水 孝子
坂本 和夫
坂井 正子
庄本 美智子
鈴木 孝子
鈴木 忠義

駒6-10
倉本 文夫
中尾(藤村) 美穂代
ハルヒコ(松田) 京子
高田(宮崎) 進子
青藤(近藤) 文江

駒6-11
阿部 典彦
飯島 旬之助
遠藤 義昭

駒7-1
高橋 宜子
松永 多加子
水田 明子
福田 和子
石川(布庭) とみ
吉原(本多) 信子
松原 秀子
宮田 澄子
山本 美智子
横田 美子

駒7-2
青木(岩間) 秀子
加藤 公子
阿部(長谷川) 祐子
上林(斎崎) 愛子
川島(村松) 二三子
清水 孝子
坂本 和夫
坂井 正子
庄本 美智子
鈴木 孝子
鈴木 忠義

駒7-3
三浦(飯沢) 昌子
赤坂(片山) 登美子
岡 真由美
徳木 利恵子
柳沢(浜崎) 八重子
田中 君子
桑原 義章
見島 清三
藤崎 忠孝
鈴木 喜男
丹野 忠義

駒7-4
倉本 文夫
中尾(藤村) 美穂代
ハルヒコ(松田) 京子
高田(宮崎) 進子
青藤(近藤) 文江

駒7-5
栗田 恭子
多田(小池) 恭子
中田(小島) 弘子
山田(古田) 允子

駒7-6
坂本 進亮
高橋 忠雄
中山 祥郎

駒7-7
阿部 誠之
後藤 光男
佐野 康雄
土田 和正
長崎 光正
西角 金雄
吉本 正喜
渡井 正治
渡辺 登

駒7-8
山本(伊沢) 恵美
横原(内田) 操
鶴田 寿子
吉永(林) 朝子
植田(吉川) 道子
津谷(宗田) 玲子
横井(山下) 登代子
武藤(和田) 清子
植田(池田) 静子
今宿(井手) 達子
大沼 静子
金子 敏恵
宮本(松坂) 明子
小山(松下) 麗子

駒7-9
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒7-10
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒7-11
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-1
浅谷 進
中川 広
長島 耕治郎
野田 経義
松永 和彦
鈴木 春香

駒8-2
青木(岩間) 秀子
加藤 公子
阿部(長谷川) 祐子
上林(斎崎) 愛子
川島(村松) 二三子
清水 孝子
坂本 和夫
坂井 正子
庄本 美智子
鈴木 孝子
鈴木 忠義

駒8-3
三浦(飯沢) 昌子
赤坂(片山) 登美子
岡 真由美
徳木 利恵子
柳沢(浜崎) 八重子
田中 君子
桑原 義章
見島 清三
藤崎 忠孝
鈴木 喜男
丹野 忠義

駒8-4
中尾(藤村) 美穂代
ハルヒコ(松田) 京子
高田(宮崎) 進子
青藤(近藤) 文江

駒8-5
海井(大賀賀) 宜恵
すぎはら(末武) ちえ子
藤井(樋口) 美和子
伊藤(河間) 克子
松沢 サチ子
尾崎(山内) 不二子

駒8-6
石原 穂高
引田 隆
松野 年美
森 彰
大木 靖子
木村 幸江
木村 浩子
岡野 佳子
中塚(村田) 祥子
渡辺 美恵子

駒8-7
倉田 旭子
坂井 寿一
実吉(長坂) 修子
永岡(沼倉) 多恵子
小谷 勝夫
須佐(安藤) 茂子
小野田(幸内) 祥子
和田 俊江

駒8-8
西原(新築) 恭子
三尾田(河村) 田鶴子

駒8-9
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-10
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-11
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-12
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-13
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-14
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-15
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-16
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-17
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-18
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-19
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-20
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-21
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-22
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-23
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-24
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-25
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-26
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-27
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-28
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-29
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-30
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-31
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-32
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-33
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-34
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-35
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-36
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-37
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-38
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-39
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-40
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-41
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-42
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-43
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-44
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-45
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-46
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-47
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-48
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-49
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-50
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-51
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-52
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-53
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-54
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-55
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-56
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-57
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-58
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-59
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-60
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-61
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-62
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-63
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-64
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-65
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-66
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-67
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-68
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-69
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-70
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-71
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-72
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-73
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-74
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-75
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

駒8-76
浅川 晋
石田 王佐
今井 剛
古賀 節彦
鈴木 正夫
西村 元秀
山口 亘
小針(小沢) 裕美
佐藤 厚子
鈴木 富美枝
岡川 良子

97 学園要報

駒場松桜会では、97年母校学園祭へは新聞博物館の夢を実現させた男のロマンをテーマに羽島知之(駒6)さんをとりあげた。

9月20、21日の二日間母校20教室で日本新聞博物館の概要、羽島さんが編著者である新聞の歴史、や12冊で完結した号外明治史から日清戦後史までの号外シリーズ、在学当時の駒場高校新聞などが自由に閲覧できるコーナーや昨年1月から開催前日までに日本中を震撼させたホットな号外展示などを行い大好評を博した。

特にカラーでスポーツ紙が発行したダイアナさんの事故死の号外は注目を集め、高校生たち世代にも号外の健在ぶりをアピールした。

長い時間をかけて熱心に見入る人が多く、二日間で七百人以上の入室者で盛況だった。新聞部の先生方や生徒たちから昔の駒場高校新聞に詳しい質問があり、羽島さんを始め新聞部の先輩がそれに対応し、和やかな雰囲気だった。

「新聞博物館の夢が実現

中学時代、一語教師との出会いがきっかけで始まった新聞関係資料の収集は、今年で47年になる。取組は新聞の顔とも言われる新聞名の入った題字のみを集めていたが、駒場時代に文通していた地方の方から送られてきた日露戦争記

事の載った明治期の新聞に魅せられて、古い時代の新聞収集が始まった。

現在では、江戸時代のかわら版から幕末明治、大正昭和平成の今に至る新聞や号外の原紙を中心に、関連の錦絵、新聞人の肉筆明治初期に使われた新聞売りの箱、書初め、ジャーナリズム関連の書籍、雑誌など10万点以上を所蔵。「新聞資料ライブラリー」羽島コレクション」と称して、関係各方面の利用に供している。

わが家の屋敷内にある書庫も満杯で友人達から羽島のころは、チリ紙交換の親分の家のような、皮肉なところもあり、年々増える膨大な量も加わって近年個人所蔵の限界を感じていた。

テレビラジオの出演、新聞雑誌の取材や執筆、講演会などでの機会をとらえては新聞資料館の建設を提唱してきたが、賛同下さる方はあっても何ら具体的進展を見ることはなかった。



97 年度松桜会コンサート報告

1月31日(土)東京オペラシティリサイタルホールに於て開催され、宮本明孝氏の協賛により、当日のチケットは10月中旬に発売し、当日会場入口に母校サカイ部会大会出場券を添付し、無料入場とした。



谷村政次郎(駒9)

私は駒場時代は普通科ながら音楽部でホルンを吹き、元氣な先輩後輩に挟まれたおとなしい期のサカイ部員であった。

松桜会コンサートのことは会報で知っていたものの、何となく遠慮していた。今回は、一年先輩で音楽部の部長だった宮本明孝氏のコンサートであり、サカイ部の全国大会出場が決まって、その募金も行うとのこと、演奏会前後にやると券の確保ができ、格調の高い演奏会に初めて参加した。

まさかそこで女性伴奏者に花束の贈呈をさせられることになることは、夢にも思わなかった。

仕事上で花束を受け取ったこと、楽だと改めて実感した。

は、何度かあったが(注:筆者は前海上目衛隊東京音楽隊長)女性に花を贈るようなかっこいい真似は一度もしたことがなく、強固に断つたものの、強引に後方の席から最前列に移された。

フルト専攻わずか一年で東京芸術大学にストリートで合格した宮本氏は、高校時代からすでに大家の風格を備え、未経験で入部した普通科の部員にも、威しいながらもあたたかく指導してくれた。

どなたも母校で行う演奏会には、思いひとしおのものがあるそうである。張り詰めたような緊張感で始まった演奏会も、自らやさしく曲目の解説をしながら進むにしたがつて和んでいく。上品な雰囲気、観客は宮本氏の名演に酔いしれていたが、出番を控えた身としては落ち着かぬ気分が鑑賞する羽目に陥っていた。

花束贈呈の際、フット宮本氏と目が合ってしまった。役目柄への本当の贈呈と高橋桐子先輩から注意を受けたという失態を演じてしまった。

伴奏者の平尾はなさんは「男の方からもらうのは初めてです」とこやかに言われ、「私もです」と小さく答えた。もう一方が渡すより

火災や震災などの心配もあり、早く何とかしないとと考えていた矢先、社団法人日本新聞協会の新聞博物館が具体化し、ぜひ協力してほしいと度々重なる要請を受けた。輪転印刷機をはじめハードな部分は以前から集められていたが、新聞のオリジナルをはじめとするソフトな部分は皆無に等しいとこのことであつた。

47年間天福にかけて収集してきたコレクションは、一つ一つが大切な私の手引きのようなもの。一つでも手元に置きたい思いがある一方、大きく立派に育てあげることが親の責任である。

新入会員より

得られた喜び

一年間、楽しいと思つた、正しいと思つたことを一生懸命しました。学園祭が、彼らにもいろいろやりました。そこで、これに味あえない経験が数多くありました。

執行委員として、学校生活を享受するに際して、この学校生活で受けるべきことを学ぼうと思つた。そして、この学校生活で受けるべきことを学ぼうと思つた。そして、この学校生活で受けるべきことを学ぼうと思つた。

鈴木香織(駒49)

母親から東京オペラシティでコンサートがあるという話を聞いて、とても行ってみたいと思つた。何でかという、東京オペラシティと言ふ新しくオープンするという事だったので、私たちが高校二年95年の頃に既に既に入っている様になっていて、友人と足を運んだこともありました。その時、その建物の素晴らしいことに感激したという事があつたので、今回、駒場のOBの方がこのオペラシティでコンサートを開くというのを聞いて、二重の喜びを感じました。宮本さんは駒場の音楽科という事で、私は保健体育科だったので直接のつながりがあったという訳ではなかったのですが、何だか駒場の上級生というだけで、去年卒業した私としては、とても親近感が湧いてきてしましました。

フルトの演奏ですが、本当に「サスガ!」という感じがしました。私は陸上部で、よくグラウンドに下りていく時に音楽科の人達がピアノを弾いたり、歌ったりしていたのを聞いていたのですが、宮本さん、高校の時とは全然風に練習していたんだろな、と思ひ、フルトを吹いている宮本さんと学生時代の宮本さんが宮本さんと頭の中であって、また、そういう事もあって、より一層素晴らしい演奏が聴けたような感じがしました。観客の方々は、年輩の方が多かったのですが、今回のコンサートを通じて松桜会という場を借りて芸術と触れ合うのも良いものだといふ風に感じました。

一大決心をし、新聞に関するコレクションの一切を日本新聞博物館に譲渡し、引き継いでもらうことにした。

私も身も特別専門委員として、博物館の運営にかかわるため、37年間勤務した広告会社に今年3月に退職、4月から竣工したばかりの博物館暫定分室で資料の分類、整理にあたる。

新聞博物館に入る横浜市情報センターの建物は、今年(昨年9月)25日に工事に着手、2000年秋の竣工を目指す。

このビルには新聞博物館と放送ライブラリーを後に、多目的ホール、パブリックスペースなどを設置、充実した三期間

充実した三期間

駒50-4 若林さとみ

卒業も間近になり、高校生活を振り返ることが多くなりました。今思えば、あの頃は早く新しい生活に慣れようとして、何が何かわからなかった。たまたま、人生の節目を過ぎていた。次第に学校生活にも慣れ、周りをよく見られるようになり、素晴らしい先生方や友人に恵まれて、様々なことを学ぶことが出来ました。

駒場高校の校風には、自由の中にも積極性や自由心を求めるところが、これは私にとって、生徒一人一人が、勉強だけでなく、それぞれの関心や興味のあることに取り組んでいく姿が、私自身も、そういう環境の中で刺激を受け、自覚を高めることが出来た。振り返ると、学校行事や部活動、動きにバランスのとれた高校生活を送る事が出来た、と思います。心のゆとりを失わず、充実した三期間を駒場高校で送れたことに、心から感謝します。

98 年度 松桜会コンサート

一九九九年二月六日(土) 東京オペラシティ



来年2月6日(土)14時より東京オペラシティリサイタルホールで、霜佐紀子氏によるヴァイオリン・リサイタルが行われます。

霜さんは昭和34年に都立駒場高校音楽科卒で、東京芸術大学音楽学部器楽科卒、同大学院修了。一九六七年から二回にわたって渡仏、故ガブリエル・ブイヨン氏に師事。現在湘南室内合奏団アンサンブル、ユニ室内合奏団アンサンブル、ポティのコンサートマスター、東京都立芸術高校講師をつとめる。



霜 佐紀子(駒11-2)

「メンデルソーンのコンチエルトを聴けるようになったら、どんなに良いかしら」。それが私の母の口ぐせで、それを初めてオーケストラ伴奏で弾かせて頂いたのが、駒場高校のオーケストラ部の定期演奏会でした。牧野先生の指揮でした。オーケストラは部活で、普通科

中高生の修学旅行の見学コースにも組み込まれるようPRしていくという。

取集品は博物館の常設展示や企画展で披露していく予定だが、大量のコレクションが私の懐にのうちに納まるように収まり、これから広く活用されていくことは、コレクションに異例といえる。期待されている。

本展示を通して、一つのことを長年継続することの大切さと意義を後輩に伝えることが出来れば、望外の喜びである。2000年秋、意外性、夢、思いの日本新聞博物館の会館を、ご期待下さい。

活躍を支えること

駒50-7 小林典子

近年、運動部の活躍は目覚しく「関東大会出場」をよく耳にするようになった。また、今年はサカイ部が全国大会出場という大きな収穫を手にした。そんな中で、私はこの学校生活にも慣れ、周りをよく見られるようになり、素晴らしい先生方や友人に恵まれて、様々なことを学ぶことが出来ました。

私自身も、そういう環境の中で刺激を受け、自覚を高めることが出来た。振り返ると、学校行事や部活動、動きにバランスのとれた高校生活を送る事が出来た、と思います。心のゆとりを失わず、充実した三期間を駒場高校で送れたことに、心から感謝します。

活躍を支えること

駒50-7 小林典子

近年、運動部の活躍は目覚しく「関東大会出場」をよく耳にするようになった。また、今年はサカイ部が全国大会出場という大きな収穫を手にした。そんな中で、私はこの学校生活にも慣れ、周りをよく見られるようになり、素晴らしい先生方や友人に恵まれて、様々なことを学ぶことが出来ました。

私自身も、そういう環境の中で刺激を受け、自覚を高めることが出来た。振り返ると、学校行事や部活動、動きにバランスのとれた高校生活を送る事が出来た、と思います。心のゆとりを失わず、充実した三期間を駒場高校で送れたことに、心から感謝します。

私自身も、そういう環境の中で刺激を受け、自覚を高めることが出来た。振り返ると、学校行事や部活動、動きにバランスのとれた高校生活を送る事が出来た、と思います。心のゆとりを失わず、充実した三期間を駒場高校で送れたことに、心から感謝します。

私自身も、そういう環境の中で刺激を受け、自覚を高めることが出来た。振り返ると、学校行事や部活動、動きにバランスのとれた高校生活を送る事が出来た、と思います。心のゆとりを失わず、充実した三期間を駒場高校で送れたことに、心から感謝します。



会員名簿刊行のお知らせ

新郵便番号と本年三月卒業の新会員を含めた1998年度版の会員名簿を年内に発行する予定です。多数の皆様のお申込みをお願い致します。

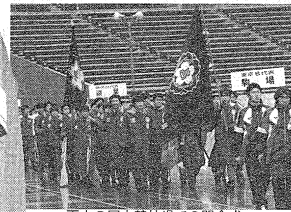
同封の会費納入振込用紙にて7月末日までに、お申込みいただいた方には、送料当方負担で、4500円で配布いたします。

協賛広告掲載については、お早めにお申込みいただきますようお願いいたします。

協賛広告の料金
全頁大 40,000円 1/2頁大 20,000円
1/3頁大 15,000円 1/4頁大 10,000円
名刺広告 5,000円

サッカー部への支援

サッカー部全国大会出場のお祝として、松桜会から写真の垂れ幕と、サッカー部部旗を寄贈。お送りいただいた香付金や昨年11月の音楽会の時の募金を含め五万余円を合宿費の一部として届けました。



雨中の国立競技場での開会式



第三の跡地に残る銀杏の樹

第三の跡地にある城南中学と三河台中学が統合され、六本木中学校が設置されることになりました。新校舎は城南中学校用地に建設し平成12年4月に完成の予定です。私たちが銀杏の樹と第三高女発祥の地等が書かれていた碑がどうなるか城南中学に行っている参りましたところ、門から銀杏の樹迄は壊さず永遠に残して下さることです。

仰光寮の近況

最近、在校生もPTAの方達も、仰光寮に入ることがないというのを耳にしました。松桜会では学園祭の時に開放し、見学していただきました。時々理事がお掃除をして空気を保っています。毎年総会の日には開放して卒業生の方々が多数見学されます。今年五月の総会当日も開放されます。

駒場幼稚園からのお知らせ

平成十年度は園児数が100名に達する見込みとなりました。皆様の暖かい御支援のおかげで感謝しております。尚一層一人ひとりを大切にする暖かい保育を努めてまいりたく存じます。

さらに嬉しいことに、松桜会会員の林明日香さんを四月から教諭としてお迎えします。若い力に期待しております。

園長 向山陽子

高校を卒業して二年が経ち、この駒場幼稚園に就職することになりました。駒場高校の諸先生方を始め、お世話になりました。さまざまな方々に感謝いたします。幼児期に子どもたちは遊びのなかで自然に体を感ずる、人のかかわり方を学び、生きる力を身につけます。遊びにふさわしい環境であるこの園で幼児教育に携わることができ、嬉しく思います。保育の現場を通して子どもたちから与えられる生きる力を源に、子どもと共に育つ保育者でありたいと思います。



(駒48 林明日香)

松桜会事務局より
〈松桜会活動のため会費納入にご協力を〉

※年会費納入につきましては、1月末日到着分をもとに振替用紙を同封いたしました。行き違いがありましたらご容赦下さい。
※卒業後6年目から年会費(1,000円)を納めて戴くことになっております。98年度分より納めていただくのは駒場45期生です。よろしくお願い致します。

※98年度に傘寿を迎えられる方は、以降年会費は不要となります。第三32回、高等科16回の方々が該当されます。永い間会費納入にご協力ありがとうございました。
住所・氏名欄が小さくなりましたが、必ず卒業回、卒業時の級(ホーム)をご記入下さい。

通信欄もご利用下さい。
お名前の記入もれにお気を付けください。
皆様の卒業回、級(ホーム)は会報送付時の宛名シール右下にあります。

D...第三 H...高等科 K...駒場 E...東級 M...中級 W...西級 S...南級 N...北級の略です。たとえば、D26E-第三26回東級、H19W-高等科19回西級、K0801-駒場8回1ホームとなります。卒業回、クラスなどご記入の際に略号でお書きくださって結構です。

☆「合唱曲集を歌う会」
1月24日の第二回は寒さの中76名がご参加下さいました。
次回は左記の通りです。どなたでもご参加下さい。楽譜の準備あり。
日時 6月6日(土)午後14時
場所 駒場幼稚園(駒場高校園新井(名和田))
新井(名和田) 03157010159
鈴木(小笹) 03134119723
※上履きを必ず持参下さい。
☆コロンを踊る会
毎月第三火曜日(8、12月を除く) 母校体育館講義室 午後一時より指導 小貫房枝先生
☆駒5 卒業45周年同期会
平成10年6月6日(土)17時~20時 銀座フアゼンダ

訃報

小川富美子様(24歳)

平成9年11月18日

駒場松桜会の評議員を長く務められ、会の発展に多くの寄与をなさいました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

松桜会会費資格について
規約にありますが、卒業されなくても本校に在学した方は理事会の承認を得て会員となります。お知り合いの方で、該当される場合お申し出下さい。

※同期会クラス会開催の御案内を会報に載せた方は、春の号は一月中旬まで、秋の号は7月中旬までにご連絡下さい。